

川崎重工業株式会社

広報部【東京】Tel. (03) 3435-2130 【神戸】Tel. (078) 371-9531 www.khi.co.jp

NO.2009059

2009年10月22日

各 位

会社名	川崎重工業株式会社
代表者名	取締役社長 長谷川 聡
コード番号	7012 東京 大阪 名古屋
問合せ先責任者	経理部長 秋岡 稔
問合せ先窓口	広報部 (TEL 03-3435-2130)

平成22年3月期第2四半期 業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

川崎重工は、平成21年4月28日に公表した平成22年3月期第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の業績予想の修正、並びに特別損失の計上について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成21年4月28日発表)	百万円 570,000	百万円 12,000	百万円 8,000	百万円 6,000	円 銭 3.60
今回修正予想(B)	516,100	6,200	1,200	6,300	3.77
増減額(B-A)	53,900	5,800	6,800	300	
増減率(%)	9.4%				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	652,923	24,353	30,718	12,335	7.39

修正の理由

平成22年3月期第2四半期の連結業績は、一部の案件で売上計上が第3四半期以降にずれ込んだほか、汎用機をはじめとする量産型部門において想定以上の市場縮小の影響を受け在庫調整を進めた結果、売上高については前回公表した予想を下回る見込みです。

営業利益・経常利益については、減収の影響はあるものの、為替レートが期初想定（1ドル=95円、1ユーロ=125円）より若干円安で推移したほか、コストダウン・固定費削減による損益改善に加え、費用発生第3四半期以降へのずれ込みもあり、前回公表予想より損失が減少する見込みです。

なお、特別損失として訴訟損失引当金繰入額を計上するため、四半期純利益については前回発表予想から大きな修正はありません。

また、通期の業績予想については、11月2日に予定しております第2四半期決算発表時にお知らせします。

2. 特別損失の計上について

当社は、平成6年4月から同10年9月にかけて、ごみ焼却施設の入札に関して談合を行っていたとして、平成18年6月27日、公正取引委員会より排除措置を命じる審決を受けました。当社はこれを不服として、東京高等裁判所へ同審決の取消を求める訴訟を提起しましたが、平成20年9月26日に棄却されたため、最高裁判所へ上告しておりましたところ、平成21年10月6日に棄却されました。

この結果、発注者からの当社に対する損害賠償請求訴訟等による損失発生見込額6,983百万円を、平成22年3月期第2四半期決算において、訴訟損失引当金繰入額として特別損失に計上することとしたものです。

なお、連結損益および単独損益に与える影響額は同額です。

以 上